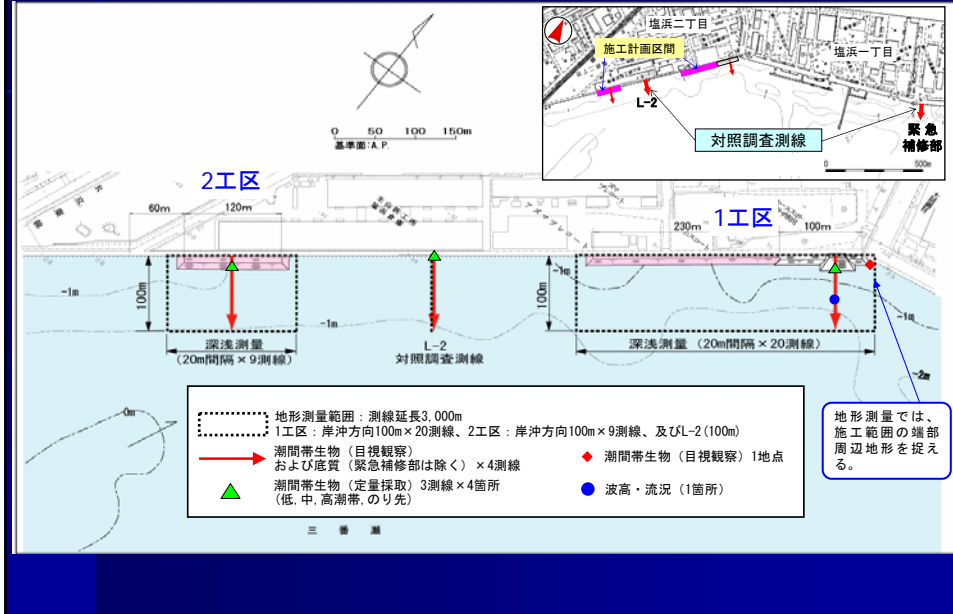


平成19年度 モニタリング調査位置

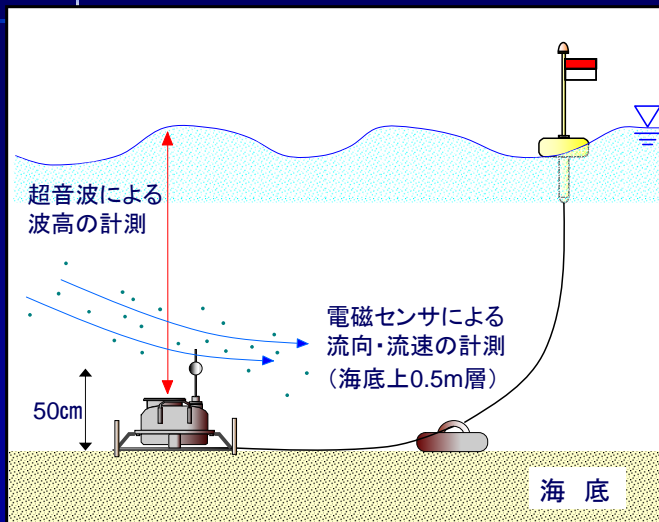


1. 波浪・流況

調査項目：工事区域周辺の波高・波向、海底上0.5m層における流向・流速

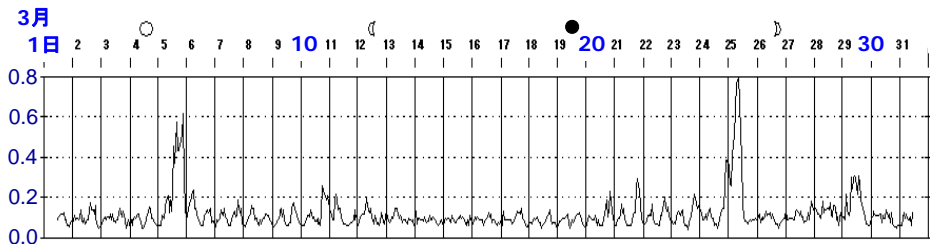
調査期間：平成19年3月1日～5月1日（60日間連続観測）

今回は、速報として、観測期間の前半分（3月）を報告



波高流速計 DL-2型

① 波高の経時変化(有義波高)



波高
(m)

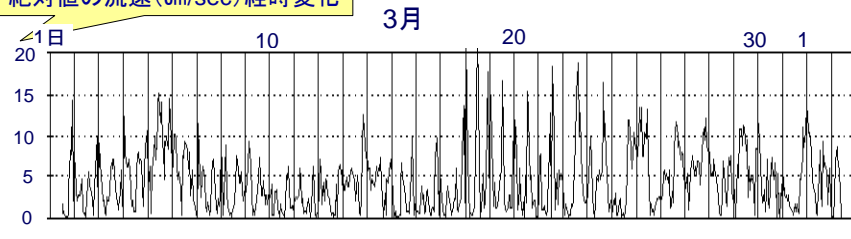
観測期間中の波高平均値(有義波)

調査時期		波高m	周期sec
施工前	H18年3月	0.09	2.7
施工直後	H18年9月	0.08	2.6
施工後約8ヶ月	H19年3月	0.08	3.3

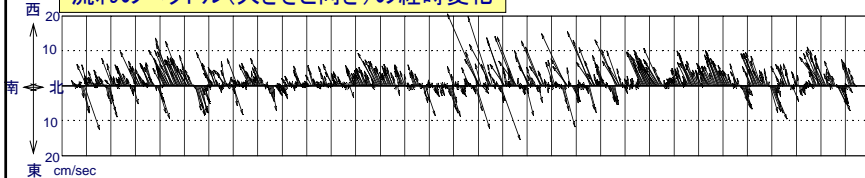
波高は全体的に低く、平均で、8~9 cm程度。施工前、施工直後と同様な傾向がみられた。

② 海底上0.5m層における流速の経時変化

絶対値の流速(cm/sec)経時変化



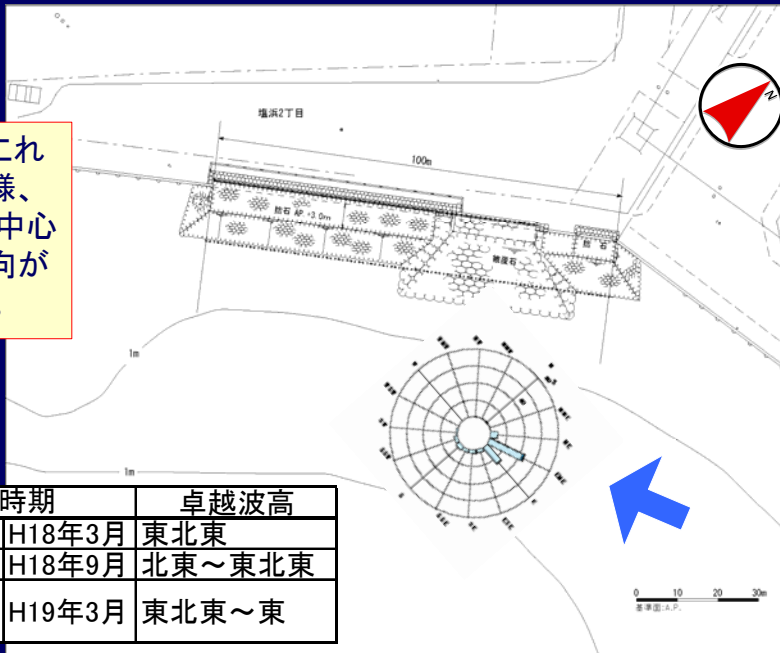
流れのベクトル(大きさと向き)の経時変化



調査時期		観測期間中の 平均流速 cm/sec
施工前	H18年3月	3.6
施工直後	H18年9月	4.6
施工後約8ヶ月	H19年3月	4.5

③ 観測期間中の波向頻度

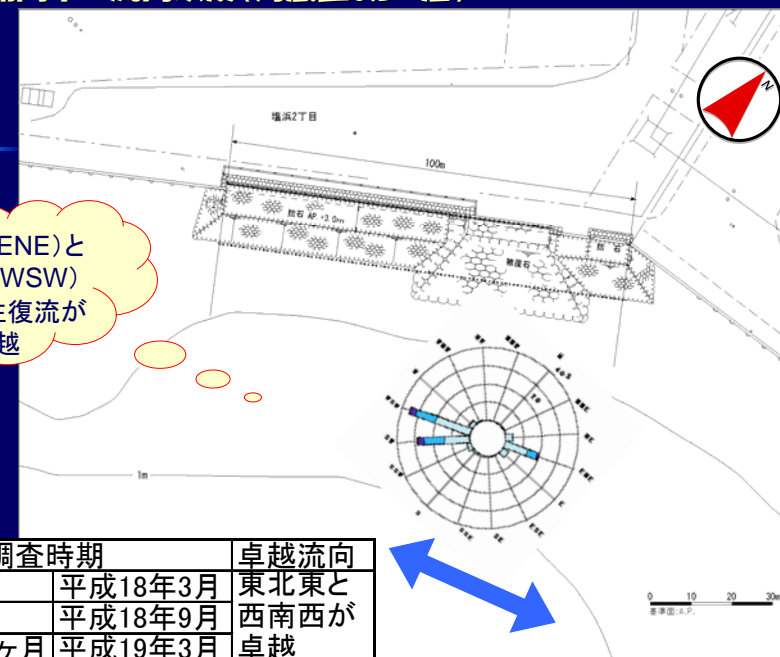
波向は、これまでと同様、東北東を中心とする波向が卓越した。



調査時期		卓越波高
施工前	H18年3月	東北東
施工直後	H18年9月	北東～東北東
施工後約8ヶ月	H19年3月	東北東～東

④ 観測期間中の流向頻度(海底上0.5m層)

東北東(ENE)と西南西(WSW)方向の往復流が卓越



調査時期		卓越流向
施工前	平成18年3月	東北東と西南西
施工直後	平成18年9月	西南西が卓越
施工後約8ヶ月	平成19年3月	卓越